

まちの ほっと ニュース

TOWADA
My Town Topics

このコーナーは市内のさまざまな出来事を紹介するコーナーです。

十和田農業体験連絡協議会会員農家が受け入れました タイの高校生ら18人が十和田市で農業体験

10月23日から26日まで3泊4日の日程で、タイの高校生らが農業体験を目的に来市しました。

初日は沢田悠学館で入村式が行われ、小久保純一副市長が高校生に記念品を手渡し、「十和田市での農業生活体験を通して、日本の文化や生活習慣を学んで欲しい」と歓迎しました。

今回の農業体験の受け入れは十和田農業体験連絡協議会が主催し、会員農家6戸が高校生の受け入れをしました。



副市長が高校生たちへ記念品を贈呈

静岡県浜松市で小山田市長がPR 野菜や加工品を売り込みました

10月24日・25日にアピタ浜北店で、まるごと青森フェア（上北地域県民局主催）が開催されました。フェアでは、上北地域まるごと売り込み隊（隊長は県民局長、副隊長は小山田久市長）が、十和田の生鮮野菜やスタミナ源たれなどの地域の特産品をPRし、好評を博していました。



野菜を対面販売する市長

グループ討議（ワークショップ）の成果を発表 元気づくり会議「市長と語ろう」

11月8日、中央公民館で第3回元気づくり会議「市長と語ろう」が開催されました。参加者は前回4つのグループで討議をした「産業・経済」「教育・福祉」など市政全般に関わるテーマについて発表しました。

発表後のフリートークでは、参加者と一般観覧者が市長と意見交換をしました。



スクリーンを使い発表する市民

講師にはアカシアの森法律事務所の今井正さん 市民大学講座で裁判員制度を学ぶ

10月23日、市民文化センターで十和田市民大学第9講座が開催されました。講師は、弁護士でアカシアの森法律事務所を経営する今井正さんが「今、そこにある裁判員制度」と題して講演しました。

今井さんは今年5月に始まった裁判員制度について、「事件の判決よりもみんなで内容を議論することが大切。裁判員に選ばれたら積極的に参加しましょう」と呼びかけました。



市民は講演を真剣に聞いていました

講師に村野武範さんを迎えて 市雇用創造推進事業

10月20日、奥入瀬溪流ホテルで、「郷土料理ブラッシュアップ研修」が開催され、講師は俳優の村野武範さんが務めました。村野さんは、「ひつつみ」や「馬肉料理」などの郷土料理に美味しいを連発。「せっかく良いものがあるのだから、観光客にPRすることが大事」と話しました。

また、村野さんが考案した「長芋チーズおやき」と「堅焼きご飯八宝菜がけ」を集めた約50人の受講者に振る舞われました。



会場いっぱいの参加者たち

地域の防災について考える 防災シンポジウム開催

10月28日、南公民館で地域の防災活動について考える「防災シンポジウム～犠牲者ゼロの地域づくり～」が開催されました。シンポジウムでは、群馬大学大学院工学研究科社会環境デザイン工学専攻教授の片田敏孝さんが講演し、「行政主導の防災には限界がある。住民が自らの命を守りぬく自助意識が必要だ」と呼びかけました。

第2部では「自主防災組織づくり研修」と題し、グループ研修が行われ、地域ぐるみで行う災害時の備えや災害時要援護者への避難支援などについて意見を交わしました。



自由な意見が交わされました

奥入瀬溪流などでエコロードフェスタ 紅葉の奥入瀬溪流を堪能

10月31日に、国道102号の惣辺交差点と子ノ口間で午前9時から午後4時までの間、普通乗用車の乗り入れが規制されました。この迂回規制は、奥入瀬溪流利用適正化協議会（環境省、青森県、十和田市が事務局）が自然環境保全と交通渋滞の解消を目的に実施したもので、11月1日は強風のため中止となりました。

規制に合わせて、奥入瀬溪流のボランティアガイドウォークや三里半ウォーク、巨木探検ツアーなどが行われ、観光客は奥入瀬溪流の景色や散策をおして楽しい思い出を作っていました。



観光客を案内する十和田西高校の生徒

仮装をしたかわいいおぼけが大集合！過去最大のにぎわい2000人

ハロウィン2009 inとわだストリートフェスタ

10月31日に中央商店街で、子どもや大人が仮装して集まるハロウィン・フェスティバルが開催されました。おぼけやアニメキャラクターに扮する800人の子どもが「トリック・オア・トリート（おやつをくれないと悪さをしちゃうぞ!）」と叫んで、まちを練り歩きました。

会場では北里大学のジャグリング部などが芸を披露し、会場をわかれました。

